

「高校生とのベーカリー商品開発企画」最終審査 **最優秀賞を受賞**

ローソンと高校生のベーカリー商品開発企画の最終選考が10月1日（月）に県庁で行われました。審査の結果、本校が**最優秀賞**に選ばれ、今後商品化に向けて動き出すことになりました。企画内容は「**マンゴーのパン**」であり、宮崎の特産物であるマンゴーを使用した商品であること、パッケージに宮崎県のPRを載せたことがポイントとなっています。他校は2、3年生が出場する中、本校は1年生のみの発表で、多少の緊張はありましたが堂々としたプレゼンテーションでした。企画は国マル1-1川崎ゆき子さん（本郷中出身）のもので、プレゼンに参加してくれた生徒は同じく国マル1-1新屋雪夢さん（宮崎西中出身）、本城美夏さん（本郷中出身）。なお、この様子は10月2日（火）の宮崎日日新聞に掲載されています。

(23) 社 会 2018年(平成30年)10月2日 火曜日

宮崎日日新聞掲載記事

■宮崎第一高生考案パン販売へ

コンビニ大手のローソンと県内高校がベーカリー商品を共同開発する企画の最終審査会が1日、県庁であり一写真、最優秀賞は宮崎市・宮崎第一高が考案した県産マンゴーを使った「太陽のパン（仮称）」が選ばれた。太陽のパンは年内に県内のローソン店舗で販売される。



審査会では書類審査を通過した4校が参加し、アイデアを発表。太陽のパンは米粉パンの中に、マンゴークリームとホイップクリームを入れ、米粉パンのもちもちとした食感が特徴、と説明された。考案した1年の川崎ゆき子さん(15)は「自分の考えたパンが店頭で並ぶことを想像すると、どきどき、わくわくする」と笑顔だった。

このほか、ブルーベリーとサワークリームを入れたまんじゅうなどのアイ

デアも出された。県と同社の地産地消に向けた包括連携協定に基づく企画で今回は2回目。

(岩切康一朗)



写真左から 新屋雪夢さん(宮崎西中出身)、本城美夏さん(本郷中出身)、川崎ゆき子さん(本郷中出身)